

東海技術サロン

2018年度のサロンは終了いたしました。多くのご参加ありがとうございました。

化学技術に関連した興味深いテーマを取り上げて、講演会を開催するとともに、講演会終了後は、講師を囲んだ懇親会を実施しています。

参加をご希望される方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX (052-204-1469)にて事務局までご提出ください。

または、[中部科学技術センターHP](#)よりお申込ください。

Word PDF

2018年度案内 (申込)



第114回東海技術サロン (CSTCフォーラム)

3Dプリンティング技術の最新動向

これまで、3Dプリンティング技術で「モノづくりは大きく変わる」と言われてきましたが、その活用は、試作開発段階での3Dプリンターを利用した試作品の製作や、量産前段階での治工具の設計検証などに留まっており、その要因の1つが造形できる材料の制約でした。今回の東海技術サロンでは、量産品としての金属部品の開発や、セラミックス3Dプリンターの実現に向けた研究などの最新動向を産学官の専門家の方より、ご講演いただきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●日 時：平成30年8月31日(金) 14:30-18:45

●場 所： 今池ガスビル 7階・プラチナルーム<詳細地図裏面参照>

名古屋市千種区今池一丁目8-8 TEL:052-732-3211

●主 催：東海化学工業会、公益財団法人 中部科学技術センター、
公益社団法人 化学工学会 東海支部

☆☆☆プログラム☆☆☆

14:30 開会 挨拶 東海化学工業会

14:35 講演Ⅰ 「金属積層造形技術の最近の研究開発動向とその応用」

東北大学金属材料研究所 教授 千葉 晶彦 氏

15:25 講演Ⅱ 「未来を拓く金属積層技術開発のご紹介 ～ものづくり大国日本の復活～」

日本積層造形株式会社 営業部長 小松 伸弘 氏

16:15 講演Ⅲ 「レーザーを用いたセラミックスの短時間焼結技術 ～セラミックス3Dプリンターの実現にむけて～」

(一財) ファインセラミックスセンター 先進構造材料グループ
グループ長 主任研究員 木村 禎一 氏

17:00 講演終了
17:15 交流会 挨拶 公益財団法人中部科学技術センター
場所 8階 レストラン「ガス燈」
18:45 閉会

申し込み方法

定員：50名（締切：8月24日（金）、ただし、定員になり次第締切ります）

参加費： 講演会1,000円(学生無料)、交流会6,000円

（当日受付にて徴収、名札用に名刺をご用意ください）

申込方法： ①下記申込書をFAXでお申込ください。

②または、インターネットで、[（公財）中部科学技術センターHP](http://cstc.or.jp)

よりお申込ください。（参加証は発行いたしません。）

問合せ先： 〒460-0011名古屋市中区大須1-35-18

（公財）中部科学技術センター 担当 荒川・犬飼

TEL: 052-231-6723

E-mail: k.arakawa@cstc.or.jp

第114回 東海技術サロン 参加申込書 （CSTCフォーラム）

FAX: 052-204-1469（公財）中部科学技術センター 荒川・犬飼行

月 日

会社名（機関名）：		参加に○をして下さい	
所在地：〒			
参加者氏名	所属部署・役職	講演会	交流会
連絡先部署		TEL () —	
担当者氏名		FAX () —	
担当者E-mail			

題目

「金属積層造形技術の最近の研究開発動向とその応用」
「未来を拓く金属積層技術開発のご紹介 ～ものづくり大
国日本の復活～」
「レーザーを用いたセラミックスの短時間焼結技術 ～セ
ラミックス3Dプリンターの実現にむけて～」
「効率的なMg, Liの熔融塩電解にむけて」
「イオン液体の電気化学デバイスへの応用」
「再生医療の産業化ー自家培養製品の開発」
「高度管理医療機器としてのコンタクトレンズ」
「生分解性マグネシウムを用いた医療デバイスの開発」
「ホロニック・パス-科学技術発展の方向を考えるー」
「静岡県地震対策300日アクションプログラム」
「食と健康・老化」
「味覚・嗅覚情報の定量化にせまるー吟醸酒を例として」
「アメリカの企業風土ー日本と比較して」
「誰でもできる発明・発見、とても易しい発明・発見」
「人生の勘どころ」
「長寿を目指す健康支援ー新たな研究と戦略」
「お茶の化学成分とその機能性」
「基礎からわかる光触媒のはなしー21世紀を拓く環境技術
ー」
「らせん高分子のナノ構造制御の魅力」
「窒化物半導体の研究と青色発光デバイスの創出」
「青色発光ダイオードの開発・実用化」
「カーボン・ナノテクノロジーの現状と将来」
「カーボンナノチューブのディスプレイデバイスへの実用化
技術の研究開発」
「携帯機器用燃料電池技術の現状と未来」
「自動車用燃料電池技術の現状と課題」
「メイクアップ化粧品における粉体技術の応用」
「機能性食品の研究・開発-セサミンを中心にして-」
「ナノ空間材料の自動車排ガスへの応用：HCTrapと
スス燃焼触媒」

講演者

千葉 晶彦 氏 (東北大金研)
小松 伸弘 氏 (日本積層造形(株))
木村 禎一 氏 (ファインセラミック
スセンター)
竹中 俊英 氏 (関西大工)
萩原 理加 氏 (京大院エネ)
大須賀俊裕氏 (ジャパン・ティッシ
ュ・エンジニアリング)
長谷川大貴氏 (メニコン)
内田広夫氏 (名大院医)
野田三喜男氏 (愛教大)
渡辺晃男氏 (静岡県防災局)
並木満夫氏 (名大名誉教授)
小林 猛氏 (名大院工)
飯久保祐一氏 (Great Lakes
Chemical Corp.)
宇田成徳氏 (広島県技術アドバイザー)
松原敬生氏 (東海ラジオ)
下方浩史氏 (国立長寿医療研)
富田 勲氏 (静岡産大)
埴田博史氏 (産総研)
岡本佳男氏 (名大院工)
赤崎 勇氏 (名城大学)
太田光一氏 (豊田合成)
篠原久典氏 (名古屋大学)
上村佐四郎氏 (ノリタケ伊勢電子)
山口猛央氏 (東京大学大学院)
森本 友氏 ((株)豊田中央研究所)
鈴木高広氏 (ロレアル化粧品 (株))
小野佳子氏 (サントリー (株))
大久保達也氏 (東京大学)

「エネルギーの大規模削減を可能とする規則性多孔体薄膜技術の展望」

松方正彦氏 (早稲田大学)

「アルツハイマー薬の開発」

杉本八郎氏 (京都大学)

「最新乳化・分散微粒化装置 T. K. フィルミックス」

澁谷治男氏 (プライミクス)

「ナノ粒子分散装置の開発とアプリケーションについて」

院去貢氏 (寿工業)

「名古屋のおいしい水」

杉本智美氏 (名古屋市下水道局)

「浄水器の最新技術」

上阪努氏 (東レ)

「天然水および物理的処理水の水の会合構造の評価」

近藤伸一氏 (岐阜薬科大学)

「新しい排水管理の手法ー日本版 W E T の提案ー」

鑪迫典久氏 (国立環境研究所)

「製造業の成長戦略ー化学物質管理のビジネス上の重要性ー」

遠藤智道氏 (社団法人産業環境管理協会)

「環境・技術コミュニケーション」

後藤尚弘氏 (豊橋技術科学大学)

「レアメタル・レアアースのリサイクルと国際資源問題」

伊藤秀章氏 (レアメタル資源再生技術研究会)

「泡沫での流れの制御によるレアメタルの高選択分離」

二井 晋氏 (名古屋大学)

「自動車触媒における希少元素代替材料技術」

高橋洋祐氏 (ノリタケカンパニーリミテド)

「産総研における新しい調光シートの開発-調光ミラーシートとサーモクロミックシート-」

吉村和記氏 ((独)産業技術研究所)

「ナノ多孔質シリカ粒子を用いた真空断熱材の開発」

井須紀文氏 ((株) L I X I L プロダクツカンパニー)

「熱から電気を効率良く取り出す夢のセラミックス」

河本邦仁氏 (名古屋大学)

「セラミックリアクターを活用した次世代電池の最新動向-リバーシブルセル技術を活用する鉄空気二次電池-」

藤代芳伸氏 (産業技術総合研究所)

「電力貯蔵用 NAS 電池の実用化例と将来展望」

玉越富夫氏 (日本ガイシ)

「トヨタにおける HV/PHV 用二次電池の取り組み」

中西真二氏 (トヨタ自動車)

「車載パワーデバイスの放熱信頼性向上とその動向」

神谷 有弘氏 (デンソー)

「パワーデバイス用 SiC ウエハ技術開発の最新動向」

加藤 智久氏 (産業技術総合研究所)

「パワー半導体モジュールの最新技術 ～高耐熱化、高放熱化、高信頼性化～」

高橋 良和氏 (富士電機)